

# 7 課

Structure of complex sentences: “は” and “が” and the tense in complex sentences

ふくぶんこうぞう

## 複文構造 —複文の中の「は」と「が」・時制—

复句结构 —复句中的“は”和“が”以及时态—

복문구조 —복문 안의「は」と「가」·시제—

大きい文の中に小さい文が入っている文（主語が二つ以上ある文）を複文と言います。複文では「は」と「が」の使い分けと時制の使い分けが大切です。

### STARTING TEST

### スタートテスト

**問題Ⅰ** どちらか適当な方を選びなさい。

1. 祖母 { aは bが } 出かけるとき、いつも傘を持っていきます。
2. 母はわたし { aは bが } 合格するようにと毎日祈ってくれた。
3. 子ども { aは bが } かいた絵を部屋に飾りましょう。
4. 君 { aは bが } パーティーに来なかったから、寂しかったよ。
5. 母 { aは bが } 旅行している間、わたしに毎日電話をくれた。

**問題Ⅱ** どちらか適当な方を選びなさい。

1. わたしはうちに { a帰る b帰った } とき、いつもスーパーに寄ります。
2. きのうち { a帰る b帰った } とき、駅でヤンさんに会いました。
3. 来月国へ { a帰る b帰った } とき、母に日本のおみやげをあげよう。
4. 来月国へ { a帰る b帰った } とき、日本のおみやげを買うつもりだ。
5. この飛行機は明日の朝、日本に着く。わたしが家に帰ったときには、子どもはもう学校へ { a行った b行っている } だろう。

友松悦子 & 和栗雅子 著  
『中級日本語文法 要点整理ポイント20』  
スリーエーネットワーク、2007

## POINT

## ポイント1

## 複文の中の「は」と「が」

(“は” and “が” in complex sentences / 复句中的“は”和“が” / 복문 안의「は」와「가」)

つぎ 次のような構造の文を複文と言います。

わたしは 子どもが寝てから テレビを見る。

大きい文 わたしはテレビを見る。(主語 → わたし)

小さい文 子どもが寝てから (主語 → 子ども)

## 複文の中の「は」と「が」

1. 大きい文の主語と小さい文の主語が違う場合 小さい文の主語 → が

カンさんは わたしが忙しいから よく手伝ってくれる。

- ・わたしは <sup>てんちょう</sup>店長 <sup>まも</sup>がいない間一人で店を守っていた。
- ・ヤンさんが来たとき、わたしはちょうどお風呂 <sup>ふろ</sup>に入っていた。
- ・わたしたちがビデオを見始めたところに、大山さんが電話をかけてきた。

2. 大きい文の主語と小さい文の主語が同じ場合 小さい文の主語 → なくなる

カンさんは ~~カンさんが~~忙しいから あまり手伝ってくれない。

- ・わたしは ~~もしわたしが~~ <sup>ひこ</sup>引越すとしたら、いらぬものは全部 <sup>ぜんぶ</sup>捨てる。
- ・~~わたしが~~ <sup>かのじよ</sup>つきあっているうちにわたしは彼女が好きになった。
- ・もし~~わたしが~~ <sup>しっぱい</sup>失敗したら、わたしが <sup>せきにん</sup>責任をとります。

3. 「…と言う／思う」の「…」の中では 「は」「が」 → そのまま

父は 母は買い物に行った と言った。

- ・わたしは <sup>ゆうしょう</sup>弟はきっと優勝すると思う。
- ・わたしは <sup>しゅしょう</sup>もし首相 <sup>あん</sup>が新しい案 <sup>かんけい</sup>を出せば外国との関係はよくなる と考えている。

問題1 どちらか<sup>てきとう</sup>適<sup>えら</sup>当な方を選びなさい。

1. うちの犬はわたし {が は} 帰ってくるととても喜<sup>よろこ</sup>ぶ。
2. 赤ちゃん {が は} よく眠<sup>ねむ</sup>れるように、テレビの音を小さくした。
3. 最近<sup>さいきん</sup>、わたし {が は}、父 {が は} 昔<sup>むかし</sup>話<sup>はなし</sup>をしてくれたことをよく思い出<sup>おも</sup>出す。
4. 田中さん {が は} 来たら、これを見せようよ。
5. ヤンさん {が は} 来た後、すぐにカンさんも来た。
6. おじ {が は} 日本に帰ってくるたびにおみやげをくれる。
7. たとえわたし {が は} 病気になっても、この子たち {が は} 大<sup>だい</sup>丈<sup>じょう</sup>夫<sup>ぶ</sup>だろう。
8. 先生 {が は} よくお世<sup>せ</sup>話<sup>わ</sup>をしてくださるから、子どもたちは楽<sup>らく</sup>しく過<sup>すご</sup>せるのです。
9. あなた {が は} そんなことを言うなら、もう別れましょう。
10. みちこ {が は} わたし {が は} あげた本をすぐなくしてしまった。
11. ぼく {が は} あんなに注意したのに、君<sup>きみ</sup> {が は} また遅<sup>ち</sup>刻<sup>こく</sup>したね。
12. わたし {が は} カンさん {が は} パーティーに来ないと思う。

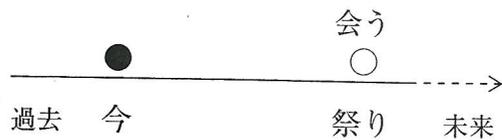
## POINT

## ポイント2

## 複文の時制

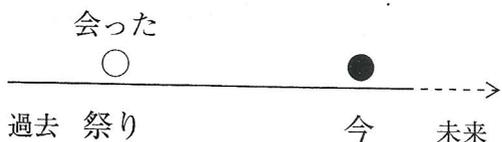
(Tense in complex sentences / 复句中的时态 / 복문의 시제)

1. 大きい文は、今（話しているとき）から見て過去<sup>かこ</sup>のことは過去形<sup>かこけい</sup>（た形）で表<sup>あらわ</sup>します。



わたしは祭りの夜ヤンさんに会う。

(祭りは未来のこと)



わたしは祭りの夜ヤンさんに会った。

(祭りは過去のこと)

2. 小さい文は、今（話しているとき）とは関係なく、大きい文との時間的な前後関係で、過去形（た形）で表すか、現在形<sup>げんざいけい</sup>で表すかが決まります。（▲…大きい文 △…小さい文）

## A 小さい文の方が前

&lt;日本語について&gt;

練習<sup>れんしゅう</sup>した → 上手<sup>うま</sup>になった

過去形（た形）

毎日よく練習した から上手になった。（「練習した」のが前）

&lt;本について&gt;

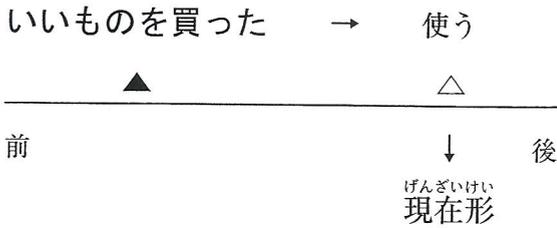
読んだ → 古本屋<sup>ふるほんや</sup>に売る

過去形（た形）

読んだ 本はみんな古本屋に売る。（「読んだ」のが前）

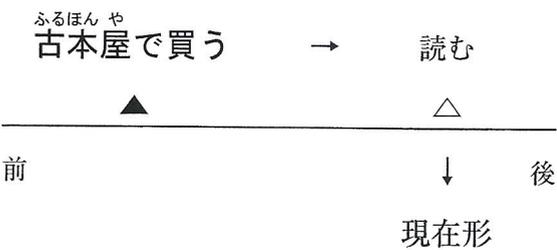
B 小さい文の方が後

<ペンについて>



毎日よく使う から いいものを買った。(「使う」のが後)

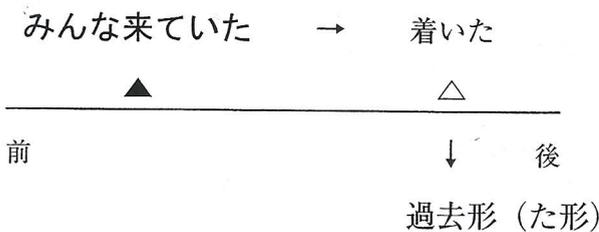
<本について>



読む 本はみんな古本屋で買う。(「読む」のが後)

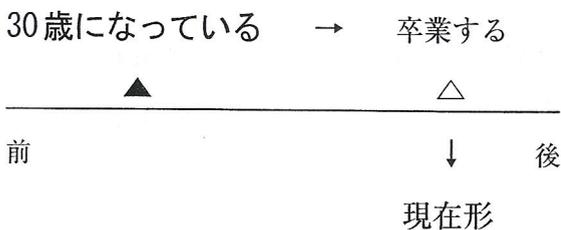
3. 大きい文に「ている形<sup>注</sup>」を使えば、小さい文より前<sup>あらか</sup>を表します。

<会場<sup>とうちやく</sup>に到着する時間について>



わたしが会場に着いた ときには、もうみんな来ていた。(みんな来た後 → 着いた)

<卒業<sup>そつぎょう</sup>するときについて>



この学校を卒業する ころは、わたしはもう30<sup>さい</sup>歳になっている。

(30歳になった後 → 卒業する)

注：ている形 → ここでは行為<sup>こうい</sup>の結果<sup>けっか</sup>がそのまま残<sup>のこ</sup>っていることを表す言い方